



2024(令和6)年3月28日

<婚礼における SDGs の取り組み>

1食につき、途上国の子どもに1食寄付

「テーブル・フォー・ツー」活動に参画した婚礼料理 4月から提供開始

帝国ホテル 大阪(総支配人:幸田雅弘、大阪市北区)は、SDGs 達成に貢献するべく、開発途上国の飢餓と先進国の飽食という不均衡問題の解決を目指す活動「TABLE FOR TWO(テーブル・フォー・ツー)*」(以下、TFT)に参画した婚礼料理の提供を4月から開始します。

TFT は直訳すると「二人のための食卓」。先進国の私達と開発途上国の子どもたちが食事を分かち合うというコンセプトで、TFT メニュー1食につき、飢えに苦しむ世界の子どもの給食1食分に相当する20円を寄付することができます。活動を推進するNPO 法人「TABLE FOR TWO International(テーブル・フォー・ツー・インターナショナル)」は2007年に設立され、企業や官公庁、大学、病院など約700団体が参加しており、累計1億以上の給食が支援されています。

今回の取り組みでは、SDGs17のゴールのうち、7つのゴール達成に貢献できます。ほかにも、帝国ホテル 大阪の婚礼では、さまざまな取り組みを行っております。



■婚礼におけるSDGsの取り組み

【お料理】

今年1月にフルリニューアルしたお料理に、TFTメニューのガイドライン(一食あたりのカロリーが通常よりやや低く*抑えられている、栄養のバランスがとれている、野菜を多く含む)を満たしている1食(前菜)が加わります。

*デスクワークが主な職場:680~800kcal

工場や軽作業を伴う職場:720~870kcal

【お飲み物】

環境保全を意図したオーガニックワインや、レインフォレスト・アライアンス認証[※]農園で栽培されたコーヒーをご用意しています。



【エネルギー】

館内で使用するすべての電力にCO2フリー電力^{※3}を導入しています。

また、すべてのキッチンにおいて、カーボンニュートラルLNG(液化天然ガス)^{※4}を使用しています。

【装花など】

吸水性スポンジを極力使用しないデザインを取り入れたり、吸水性スポンジを使う場合にも使い捨てではない素材を使用しています。また、植物性原料(パームワックス)配合の自然環境にやさしいキャンドルもご用意しております。

【引き出物】

育成から製造、出荷、アフターフォローまで一貫して行う竹で作られたマグカップや、再利用して作られたガラスのタンブラーなど、環境負荷の少ない商品をご用意しております。

帝国ホテル 大阪の婚礼におけるSDGsの取り組みについて:

URL:<https://www.imperialhotel.co.jp/osaka/wedding/sustainable>



*1 TABLE FOR TWO(テーブル・フォー・ツー)とは

先進国で1食とるごとに 開発途上国に1食が贈られるプログラムで、肥満や生活習慣病予防のためにカロリーを抑えた定食や食品を購入すると、1食につき20円の寄付金が、TFTを通じて開発途上国の子どもの学校給食になります。



*2 レインフォレスト・アライアンス認証とは

森林の保護、労働者の人権尊重や生活向上、気候危機への緩和と適応など、より持続可能な農業を推進するための包括的な認証制度です。



*3 CO2フリー電力とは

再生可能エネルギー電源に由来するCO2フリー価値付きの電気のことを指します。帝国ホテルでは、FIT非化石証書の調達を利用したCO2フリー電力を導入しております。

*4 カーボンニュートラルLNG(液化天然ガス)とは

天然ガスの採掘から燃焼に至るまでの工程で発生するCO2をカーボンオフセット(相殺)したLNGのことを指します。